



[財]日本太鼓連盟

NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2005年 4月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:http://www.nippon-taiko.or.jp Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報

4度目の出場で手取亢龍若鮎組(石川県)が日本一に ～第7回日本太鼓ジュニアコンクールを開催・ブラジルチームも参加～



(開会式)

3月20日(日)、(財)日本太鼓連盟主催、神奈川県共催、(財)日本太鼓連盟神奈川県支部主管による総務大臣杯・文部科学大臣奨励賞第7回日本太鼓ジュニアコンクールを神奈川県横浜市・神奈川県民ホールにおいて開催致しました。全国33都道府県(318チーム3,559名)から選抜された40団体469名(平均年齢13.8才 最年少4才)が出場し、その腕を競いました。

開会式は、優勝旗を持った前年度優勝チーム華太鼓かんなの会「ふじ組」(宮崎県)を中央に、特別出演を含めた全チームがステージに整列して行われました。国歌斉唱に続き、(財)日本太鼓連盟紀内会長、神奈川県松沢知事、(財)日本太鼓連盟神奈川県支部島田支部長が挨拶。続いて、前年度優勝チームより優勝旗、優勝杯が返還され、副賞として優勝杯レプリカと太鼓一鼓(1尺6寸)が贈呈されました。

出演順1番目の青木村義民太鼓こまゆみ会(長野県)の堀内萌さんが、「日本の文化である日本太鼓を通じ、友情とふれあいを高め、力一杯演奏することを誓います」と力強い選手宣誓を行い、当財団小口副会長による「初っ切り太鼓」を皮切りにコンクールは始まりました。

出場40団体は、大会要領に基づき5分間で課題曲と自由曲を演奏しました。満員となった2,400席には、地元から貸切バスで応援に駆け付けた方々や、横断幕を用意して熱心に応援する姿が目につきました。

また、前日に、会場前の山下公園でバチの振りを練習する姿を見た近所の方々も、当日券を求められ「太鼓を初めて見るけれど、本当に素晴らしい」と感激されていました。

40団体の演奏の後、ブラジルの優勝チーム「アルモニア太鼓響楽座」が演奏を披露しました。

閉会式では、渡辺貞夫審査員、塩見審査委員長より講評がありました。続いて審査結果が発表され、手取亢龍若鮎組(石川県)が総務大臣杯の栄冠に輝きました。このチームは6歳から15歳の12名の編成。第3回大会で2位の実績があり、着実に実力を上げ、4回目の出場となる今回は、まとまりのある楽しそうな演奏と、伝統を感じさせる構成で、日頃の練習の成果を十分に発揮しました。

また、第2位のおおむら太鼓連くじら太鼓(長崎県)は、文部科学大臣奨励賞と、ブラジル太鼓協会賞の同時受賞となりました。

第7回を迎えた今回の大会は、昨年にも増して高レベルの演奏で、チーム間の差が余りなく優劣を付け難い大会となりました。全国大会に出場したということが、各チームにとって大きな財産になったと確信しております。

最後に、厳正な審査をして頂いた審査員の先生方、特別出演チームの方々、全国より応援に来て頂いた父兄並びにご来場の皆様、そして神奈川県支部スタッフの皆様にご心より感謝とお礼を申し上げます。



(優勝した手取亢龍若鮎組)



(ブラジル・アルモニア太鼓響楽座)

石川県代表 手取穴龍若鮎組

「一生懸命が美しい」 指導者 安江 信寿

「一生懸命」「心ひとつ」を合言葉に、子ども達と夢に向かって稽古を始める。

今回12人の子ども達と挑戦。年齢は6歳から15歳。それぞれ受験、部活、塾などに頑張っている為、なかなか全員揃っての稽古が出来ない。

2月に入っても「心ひとつ」になれない。そろそろ雷を落とすとするか…。

練習日程を作り、ようやく稽古が始まる。「一生懸命」打て！稽古での失敗は何度してもいいから、とにかく「一生懸命」「心ひとつ」。一緒に泣いて、笑って、叱って、いっぱい褒めて！子ども達も少しずつ「一生懸命の顔」になってきた。

私も口うるさい親父になる、全員私の子どもだから。

コンクール当日、開会式も終わり出演までの待ち時間、緊張している子ども達には「今まで『心ひとつ』になるため『一生懸命』頑張ってきた稽古が一番大切で大事な事だったのだから、本番は笑顔で『一生懸命』『心ひとつ』稽古してきた事を全部出して楽しんで来なさい。」

演奏後、ステージ袖に戻って来た子どもたちの顔は、満足感の涙で輝いている。すべてを出し切り「心ひとつ」になれたのだろう。涙を流して誇らしげに私の顔を見ている。結果を聞く前だと言うのに…。

今回たくさんの方々を支えられ、優勝することが出来ました。子ども達には、ずっと言い続けてきた言葉を忘れないで、これからも頑張りたいと願っています。また、この度は私にも大勢の方々から励ましのお言葉、助言をいただき感謝に耐えません。

「わらえてたのしかったえんそう」 北川 ^{ひな}陽菜 (6歳)

みんなでおとをひとつにしてよかった。えんそうがじょうずにできてよかった。たいこがまちがえたとき、つぎはじょうずにできてうれしかった。なかなかよばれなかったけど、さいごにゆうしょうとよばれてうれしかった。

じょうずにできないときは、つぎにはじょうずにできてうれしかった。ぶたいでたたくとき、どきどきしていたけどたたいていたらじょうずにでき、うれしかった。えがおのけいこができてすごうれしかった。

わたしはえがおのけいこがすきです。わたしはたいこをたたくのもだいすきです。だからぶたいにでたときとてもたのしかった。たたいていたらメンバーといっしょにわらえてすごたのしかったです。

ゆうしょうできて、おとなのひとにかんしゃしています。たのしいたいこがたたけてとてもうれしいです。

「心をつに」 原田 夏実(中学2年)

私がこの全国大会で一番頑張った事は、みんなで心をつにすることです。練習の時も、一人でも半端な気持ちだったらいい演奏にならなかったの、練習から心をつにしないと、チームがまとまりませんでした。前日のリハーサルは大失敗でした。その時は緊張しすぎて、それぞれ自分のことだけしか考えていませんでした。みんなに合わそうとしなかったため、練習よりとても早くなってしまい、音もバラバラになってしまったからです。その後、先生の話の聞き、自分達だけでミーティングをしました。もう一度練習を振り返ってひざ打ちをし、足にあざが出来くらい何度も練習しました。そうしているうちに、だんだん音がひとつになって早さもいつも通りになってきたので、とても嬉しく感じました。それと共に、みんなやれば絶対できると自信ができました。この時やっと、私達は本当に心をつにすることができたのだと思います。そして、本番でも今までで一番いい演奏ができたのだと思います。

また、大会に向けて厳しい練習を乗り越えて頑張ってきたことも、いい演奏ができた一つの理由だと思います。

メンバーの中には受験生がいて、練習を休むことがたくさんあったり、太鼓でひざを痛めてあまり曲げることができなくなったりする人もいました。私自身も、去年に手のひらがけんしょう炎になってしまって、結局1ヶ月前に手術しました。手術の後もすぐには治らず、手に違和感があり、太鼓を打つととても痛みがでました。それでも、みんなで必死に頑張ってきたので、全国大会で優勝することができたのだと思います。また、ここまでこれたのは自分の力だけではなく、一生懸命教えてくれた先生や、私達を応援してくれたみんなのおかげだと思います。

これからも大会だけではなく、いろんな所で心をつに頑張っていきたいです。

翌日に特別講習会を開催

翌21日(月)、本コンクール出場団体の更なる技術向上を目指し特別講習会が行われました。希望のあった光明学園相模原高等学校和太鼓部(神奈川県)、松川一の宮太鼓花組(岩手県)、県立中央農業高等学校(神奈川県)、アルモニア太鼓響楽座(ブラジル)の4チームが参加しました。

古屋技術委員長と渡辺委員から、1団体につき1時間半、基本を中心とした指導は、受講者だけでなく、チームの指導者にとっても、指導方法を学ぶ良い機会になり、好評でした。

初めて海を越えて参加 ～ブラジル太鼓チーム招聘～

今回のジュニアコンクールに、ブラジル代表としてアルモニア太鼓響楽座が出演しました。

昨年、20チームが参加して行われた全ブラジルジュニア太鼓選手権大会において優勝したチームです。

昨年6月にブラジルに、太鼓集団天邪鬼を派遣した際、ブラジル側からジュニアの優勝チームを日本の全国大会に派遣し、日本の高いレベルを実体験させ技術の向上を目指したいとの要請がありました。

この度その要請を受け、日本財団の支援を得て招聘が実現し、引率も含め響楽座10名、ブラジル太鼓協会2名の総勢12名が来日しました。

当日の演奏は、相当の練習を積んできたのか、日本のチームにひけを取らない立派な演奏で、昨年6月よりも随分成長した様子うかがえました。メンバーにとって、本場日本の同世代の演奏を見ることにより、また日本のチームにとっても外国で太鼓を習得したチームの演奏を見ることにより、自分達の「太鼓」を見つめ直すきっかけになり、良い刺激になったと思われます。メンバーが選出した特別賞「ブラジル太鼓協会賞」はおおむら太鼓連くじら太鼓(長崎県)に授与されました。

翌日、特別講習会に参加し、礼儀や節度など基本を中心とした指導を受け、太鼓はサンバのドラムと違い、精神的なことも重要であることを学んだようでした。浜松、豊橋のブラジル人学校の公演では、生徒達は大喜びで、熱狂的な歓迎を受けました。

「ジュニアコンクールに参加して」 ブラジル太鼓協会 総務長 宗 友夫

日本人ブラジル移住100周年を迎えようとする時、後継者育成のため、太鼓で日本文化を継承する事によって、日系社会の発展に役立てようと企画を始め、2002年7月JICA(国際協力機構)のご協力を頂き、シニアボランティアとして小田幸久氏(福岡県支部長)をお迎えしました。2年間の小田先生の献身的なご指導で現在2,000名を越す生徒を要し、昨年2月にはブラジル太鼓協会が設立されました。日本太鼓連盟より協会設立を記念して塩見理事長を始め役員の方々から来伯され、また太鼓集団天邪鬼による記念公演を開催して頂きました。

今回はまた、ジュニアコンクールに特別参加としてご招待頂き、本当に有難うございました。心からお礼申し上げます。

私達はジュニアコンクールをビデオで見えていたが、今回は実際に見せて頂き、規律正しく、迫力ある打ち込みは私の脳裏に深く刻み込まれました。一日中日本太鼓の醍醐味を味わわせて頂き、今尚大会当日の事が忘れられません。南米の拠点として頑張るように、日本財団より響楽座に太鼓を2鼓贈呈して頂き、響楽座の皆は勿論、ブラジル太鼓協会一

同身に余る光栄と感謝し厚くお礼申し上げます。

大会翌日には渡辺洋一先生の特別指導まで頂く機会に恵まれ本当に幸せでした。

響楽座のために、特別公演として浜松と豊橋のブラジル人学校を訪問し、響楽座のカー杯の演奏に対し、両校の生徒から大拍手を受け、演奏後生徒、先生方又各関係者と親善交流を深めて再会を約束し、お別れしました。

団員中7名が初めての日本訪問で、21日浜松に向かう途中くっきりと浮かび上がった富士山を拝むことができ、人生によき思い出の一ページだったと思います。ブラジルでは絶対に見る事が出来ない雪、富士山にての雪合戦ができ、夢にまで見たディズニールンドを始め、東京観光案内と家族以上に身に余るお世話を頂きました事、深く感謝申し上げ厚くお礼申し上げます。

<入賞チーム>

優勝・総務大臣杯・県知事賞	
手取亢龍若鮎組	(石川県)
第2位	おおむら太鼓連くじら太鼓 (長崎県)
第3位	龍連山太鼓道場「纏組」 (山形県)
第4位	のさか太鼓 (千葉県)
第5位	人吉ねぶか太鼓 (熊本県)
文部科学大臣奨励賞	
おおむら太鼓連くじら太鼓	(長崎県)
特別賞(計11団体)	
神奈川県教育委員会賞	
山木屋太鼓クラブ	(福島県)
神奈川県議会賞	
絆太鼓	(福岡県)
横浜市市長賞	
霧島九面太鼓 女子部	(鹿児島県)
横浜市教育委員会賞	
星槎学園 高等部 和太鼓部 響	(神奈川県)
横浜市議会賞	
上州榛東ふるさと太鼓	(群馬県)
神奈川県商工会議所連合会賞	
院内童龍太鼓	(大分県)
社団法人神奈川県観光協会賞	
刈和野大綱太鼓	(秋田県)
株式会社テレビ神奈川賞	
高野右吉と秩父社中	(埼玉県)
アール・エフ・ラジオ日本賞	
明宝磨墨太鼓保存会	(岐阜県)
神奈川新聞社賞	
青木村義民太鼓保存会こまゆみ会	(長野県)
ブラジル太鼓協会賞	
おおむら太鼓連くじら太鼓	(長崎県)

<審査委員>

池田 庄作(財団副会長)	
岡田 知之(洗足学園音楽大学教授)	
小口 大八(財団副会長)	
塩見 和子(審査委員長・財団理事長)	
中西 智子(三重大学教授)	
西角井正大(日本大学大学院芸術学研究科講師)	
古屋 邦夫(財団技術委員長)	
渡辺 貞夫(サクソ奏者)	(五十音順・敬称略)

<特別出演>

アルモニア太鼓響楽座	(ブラジル)
華太鼓かんなの会「ふじ組」	(宮崎県)
(前年度優勝チーム)	
打どう心	(神奈川県)

資格取得者が4,000名を突破

～鹿児島、東京で2回目、山形、道央では初の講習会開催～



(八丈太鼓講座)

＜第22回日本太鼓全国講習会(鹿児島)＞

2月12・13日、全国講習会が全九州太鼓連合、鹿児島県支部が主管となり、牧園町のみやまコンセールにおいて行われました。鹿児島で2回目の開催となるこの講習会には、地元鹿児島県をはじめ、全国18都府県から178名が参加しました。開講式は、財団を代表して小口副会長、全九州太鼓連合から長谷川会長、鹿児島県支部から竹之下支部長が挨拶、また前田牧園町長より歓迎の言葉がありました。

会場は、空気の綺麗な霧島高原にあり、受講生はさわやかな汗を流していました。2日間の講習の後、実技と筆記の検定が行われました。

会場のみやまコンセールには、共催者として全面的なご支援をいただきました。

○専門講座 講師

御諏訪太鼓講座 小口 大八氏
八丈太鼓講座 菊池 修氏
縮太鼓講座 長谷川 義氏

○基本講座 講師

総合指導 古屋 邦夫氏
3級基本講座 安江 信寿氏
4級基本講座 若山 雷門氏
5級基本講座 松枝 明美氏 松元 和敏氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定 11名受験 1名認定(6名合格)
2級検定 37名受験 10名認定(32名合格)
3級検定 17名受験 17名認定
4級検定 30名受験 27名認定
5級検定 45名受験 45名認定

＜第22回日本太鼓支部講習会(山形)＞

1月19・20日、山形県支部主催による初の支部講習会が、酒田市の西荒瀬中学校において行なわれ



(開会式)

ました。5級基本講座に40名が参加しました。

○基本講座 講師

総合指導 古屋 邦夫氏

5級基本講座 松枝 明美氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

5級検定 40名受験 40名認定

＜第23回日本太鼓支部講習会(東京)＞

3月5・6日、東京都支部主催による支部講習会が、日本財団ビルにおいて行なわれました。3・4・5級基本講座に93名が参加しました。

○基本講座 講師

総合指導 古屋 邦夫氏
3級基本講座 安江 信寿氏
4級基本講座 若山 雷門氏
5級基本講座 渡辺 洋一氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

3級検定 19名受験 19名認定
4級検定 18名受験 18名認定
5級検定 58名受験 56名認定



←(東京・5級基本講座)

(道央・5級基本講座)→



＜第24回日本太鼓支部講習会(北海道道央)＞

3月12・13日、北海道道央支部主催による初の支部講習会が、札幌芸術の森において行なわれました。5級基本講座に道内より65名が参加しました。

○基本講座 講師

総合指導 古屋 邦夫氏
5級基本講座 松枝 明美氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

5級検定 60名受験 60名認定

現在の公認指導員・技術認定員数は以下のとおりです。

＜公認指導員＞

特別2名、 1級22名、 2級55名、
3級108名 総数187名

＜技術認定員＞

1級48名、 2級102名、 3級420名、
4級696名、 5級2,755名 総数4,021名

日本太鼓と学校教育ー ②

全くの太鼓初心者から、太鼓部を立ち上げ、ジュニアコンクール出場にまでチームを導かれた光明学園相模原高等学校和太鼓部の顧問緒方英好氏より、太鼓を始めたきっかけと、太鼓にふれた生徒の変化について寄稿いただきましたのでご紹介いたします。

「日本太鼓に出会って」

光明学園相模原高等学校 和太鼓部 顧問 緒方 英好

創部16年目。部員43名の他にマネージャー2名。レパートリーは、オリジナルを含めて30曲近い。これが現在の光明学園和太鼓部である。まさかここまで大きくなるとは思ってもみなかった…。

私自身まったく太鼓には縁がなかった。その私が太鼓の魅力にとりつかれたのは17年前にさかのぼる。当時は国際交流が盛んな頃で、私もボランティアで神奈川県内の中・高生20名を連れて南ドイツ・バイエルン地方へ一カ月ほどホームステイに行った時のことだ。あるホームパーティに招かれて行ったのだが、そこで「日本からわざわざ来たんだ。何か日本の歌か踊りを見せてくれ。」と言われてしまったのだ。引くに引けず、「さくらさくら」をやったの思いで一番だけ歌い、あとは「炭坑節」を踊るのが精一杯で、内心、恥ずかしい思いと悔しさで一杯だった。偉そうに国際交流だなんて引率してきた自分自身が、何一つ日本の伝統文化を身につけていなかったことを情けなく思い、帰国したら何か習おうと心に誓ったのであった。

ある日、たまたまつけたテレビで宇崎竜童さんのアメリカツアーの様子が放映されており、その中で太太鼓を打つ場面があった。「格好いいな。よし、これに決めた!」と思い、さっそく習えそうなところを探し始めたのである。ある日、私の勤務する学校の近くに派手なバスが止まっていて、その横には大

きく「相模龍王太鼓保存会」と書いてあった。私はすぐにそこに書いてあった電話番号をメモし、その日のうちに入会を申し出た。一度も演奏など見たこともないのである。時に32歳の時であった。それからまる一年、戸惑いながらもひたすら練習し、その魅力にとりつかれていった。そして「こんなすばらしいものを自分一人で楽しむのはもったいない。自分は教師だから、生徒たちにも教えよう!」と思い立って一年後、部活を立ち上げたのであった。それからまる15年の月日が流れた。太鼓もなく、古タイヤをたたきだけの頃が今でも時々思い出される…。

部員たちは全員高校に入って太鼓と出会った者ばかりである。そんな彼らが太鼓の魅力にとりつかれ、放っておくと何時間でも太鼓をたたいている。別名「隠れ運動部」とまで言われており、今年年間70回以上の演奏活動をこなすまでになったが、いつの間にか自然に挨拶や言葉遣いが身に付いてきたことに気がついた。人前に出ることで「芸人」としての意識が高まり、「人前で演奏する」ということはどういうことなのか、自分たち自身で考えるようになったのである。太鼓を通して同じ感動を共有し、チームワークの大切さを感じる。太鼓が彼らに与えてくれたものは計り知れない。そして何より17年前に私が感じたものを、しっかり彼らが受け継いでいてくれることが、何より私にとってはうれしくもあり、誇りに思える。

「第2回日本太鼓シニアコンクール全国大会」開催要項

- 日時 2005年11月27日(日) 開演 14:30
会場 のとふれあい文化センター
石川県鳳至郡穴水町内浦 5-28-3
Tel. 0768-52-3401
- 主催 (社)石川県太鼓連盟、(財)石川県芸術文化協会、北国新聞社
- 協力 (財)日本太鼓連盟、北陸三県太鼓協会
- 後援 石川県、石川県教育委員会他
- 協賛 (株)浅野太鼓楽器店
- 出場資格 ・個人打ち 打ち手は60歳以上
但し、リズム奏者1名(60歳以下)の共演は可
・団体打ち 打ち手は、全員60歳以上
- 費用 全費用は、出場者自己負担
- 表彰 名人、準名人、敢闘賞、その他特別賞
- 申込先 (社)石川県太鼓連盟 事務局長 北村吉則
〒920-3121 石川県金沢市大場町東 57 番地
Fax. 076-258-0265 Tel. 076-258-0824
ishikawa-taiko@p2223.nsk.ne.jp
* 問合せは手紙、Fax、メールのみ可

「太鼓という楽器」が出版

これ1冊で太鼓が分かる、太鼓愛好者必読の書「太鼓という楽器」が出版されましたのでお知らせいたします。

著者
小野美枝子

出版
(株)浅野太鼓文化研究所
1,500円

問合せ先
(株)浅野太鼓楽器店
Tel. 076-277-1717



2005年度に向けて各種会議を開催

～理事会・評議員会・運営委員会・技術委員会～

第15回理事会並びに第14回評議員会が3月10日に開催され、次の事項が審議、承認されました。

<評議員会>

「2005年度事業計画及び収支予算について」

「理事の選任(補充)について」

第3期より理事に就任されていたゴマソール駐日英国大使が、駐日大使の任期終了により帰国されたため、後任の新駐日英国大使のグレアム・フライ氏を、理事として補充することとした。

<理事会>

「2005年度事業計画及び収支予算について」

「業務費平衡積立金規定の制定について」

<運営委員会・技術委員会>

第22回運営委員会・第19回技術委員会が1月19日に開催され、次の事項が審議、承認されました。

1. 2004年度事業について

① 2004年度事業の実施状況と今後の予定について資料を基に説明し、了承された。

② 第7回日本太鼓ジュニアコンクールについて

- ・実施概要を説明し、了承された。
- ・40団体の出場を検討し、承認した。また、両委員会委員により厳正な抽選を行い、出場順番を決定した。
- ・審査委員候補者を選考し、決定した。
- ・全ブラジル太鼓選手権において優勝したジュニアチームが、日本財団の支援により来日するため特別演奏として出場を認めることとした。

・大会終了後、技術委員会を開催し審査委員の講評をまとめることとした。

・大会翌日に特別講習会を実施することとした。

③ 日本太鼓資格認定事業について

・現3級公認指導員である高島笑美氏と安藤王子氏を2級公認指導員へ昇級することとした。

・現1級技術認定員である北川進氏を3級公認指導員へ昇級することとした。

・山形県支部から推薦のあった進藤喜一郎氏を3級公認指導員に認定した。

2. 2005年度事業について

・2005年度事業の開催内容について資料を基に説明し、了承された。

・日本太鼓助成金交付事業について申請内容を検討し、助成事業を決定した。

詳細は下記参照

<技術委員会>

第20回技術委員会が3月20日に開催され、次の事項が承認されました。

・現3級公認指導員である八木一彦氏を2級公認指導員へ昇級することとした。

・現1級技術認定員である川口亜香氏と吉岡賢次氏を3級公認指導員へ昇級することとした。

2005年度日本太鼓助成金交付事業決定のお知らせ

運営委員会において、下記の34事業を決定いたしました。決定された事業には報告書受理後、助成金20万円が交付されます。

<ジュニアコンクール予選>

北海道道南支部	5月15日(日)	室蘭市
岐阜県支部	7月31日(日)	養老町
栃木県支部	10月16日(日)	宇都宮市
神奈川県支部	10月16日(日)	横浜市
佐賀県支部	10月30日(日)	佐賀市
宮城県支部	11月5日(土)	鳴子町
埼玉県支部	11月6日(日)	嵐山町
福岡県支部	11月6日(日)	志免町
東京都支部	11月中旬	港区
群馬県支部	11月27日(日)	藤岡市
茨城県支部	11月	日立市

<支部講習会>

兵庫県支部 5月21日(土)・22日(日) 新宮町

<その他>

北陸三県サマースクール富山	富山県支部	7月16日(土)・17日(日)	砺波市
第8回ジュニアサマースクール2005	大分県支部	8月上旬	香々地町
教職員の太鼓研修会	英国・影武者太鼓	8月	エクセター
第20回霧島高原太鼓まつり	鹿児島県支部	8月20日(土)・21日(日)	牧園町
第3回全国和太鼓競演大会	山形県支部	9月18日(日)	天童市
第7回日本ろう者太鼓同好会山梨公演	山梨県支部	9月18日(日)	南アルプス市
新潟県支部設立記念公演「新潟の太鼓」	新潟県支部	10月9日(日)	燕市
和太鼓in「ゆうばり」和楽器の競演	北海道道西支部	11月	開催地未定
福井の太鼓	福井県支部	11月6日(日)	敦賀市
第2回日本太鼓シニアコンクール	石川県支部	11月27日(日)	穴水町
第2回伝統芸能研究会	秋田県支部	12月4日(日)	神岡町
第3回ふくしまジュニア太鼓フェスティバル	福島県支部	2月20日(日)	郡山市

<教職員太鼓研修会>

長野県支部	7月3日(日)	岡谷市
青森県支部	7月10日(日)・11月6日(日)	天間林村
栃木県支部	7月31日(日)	宇都宮市
群馬県支部	8月6日(土)	藤岡市
島根県支部	8月25日(木)・26日(金)	三刀屋町
岩手県支部	11月13日(日)	紫波町
北海道道南支部	11月23日(火)	室蘭市
千葉県支部	12月25日(日)	野栄町
宮崎県支部	2月18日(土)・19日(日)	宮崎市
北海道道西支部	日程未定	岩見沢市

各方面で日本太鼓が演奏協力

日本・EU市民交流年開会式「日本太鼓コンサート」

今年日本と欧州連合（EU）の市民交流年であり、この交流年のオープニングイベントとして駐日欧州委員会代表部が主催で「日本太鼓コンサート」を1月17日東京・草月ホールにおいて実施協力致しました。当日は、日・EU交流にゆかりのある方々約300名が参加し、EU側からは、イギリスのジュニアチーム「影武者太鼓」と欧州唯一のプロチーム「無限響」、日本側からは、第5回日本太鼓ジュニアコンクールで優勝した「信濃国松川響岳太鼓子供会」（長野県）と、「太鼓集団天邪鬼」（東京都）が出演しました。

翌18日は、千代田区立麴町中学校において、イギリス大使館チームも協力し、影武者太鼓と無限響による太鼓レッスンが行なわれました。これは、1年生と3年生を対象に授業の一環として行われ、生徒達は熱心に太鼓に取り組み、太鼓を打つ楽しさを実感したようでした。



←(イギリスジュニアチーム「影武者太鼓」)

(中学校での指導の様子)→



2005年スペシャルオリンピックス冬季世界大会 記念チャリティコンサート・大会記念レセプション

1月31日、東京都・草月ホールにおいて、スペシャルオリンピックス冬季世界大会記念チャリティコンサートを開催しました。これは、当財団が主催、同大会実行委員会募金委員会が共催者となり、2月に長野県で開催の知的発達障害者によるスペシャルオリンピックスに協力するために開催いたしました。

知的発達障害者4チームとその療育にあたる療育士1チームが演奏を披露し、障害を感じさせない素晴らしい演奏と、その太鼓へ向かう真っ直ぐな姿勢は、聴衆に大きな感動を与えました。募金額1,745,000円は募金委員会へ全額寄付しました。

出演：富岳太鼓竜神組（静岡県）、やまびこ太鼓（福島県）、豊里学園和太鼓 鼓粹（大阪府）、恵那のまつり太鼓（岐阜県）、富岳太鼓雷神組・療育士チーム（静岡県）

27日、長野県長野市において、スペシャルオリンピックスの関係者の交流の場として「BOARD OF DIRECTORS DINNER」、28日「ゲストレセプション」が開催されました。

レセプションには、知的障害者チーム「富岳太鼓竜神組」（静岡県）が出演し、世界86カ国から来日した関係者の方々に、大きな感動を与えました。



(富岳太鼓竜神組)

がんばろう中越がんばる見附応援太鼓コンサート

3月6日、新潟県見附市・見附市文化ホールにおいて、地元の越後見附太鼓が主催となり、「がんばろう中越がんばる見附応援太鼓コンサート」が開催されました。これは、昨年、水害、新潟中越大地震、大雪と相次いで被害を受けた見附市を応援し、元気付けようと開催されました。地元12団体、当財団が派遣した手取亢龍太鼓（石川県）と福光もちつき太鼓（富山県）の合計14団体出演し、新潟の復興に向けて中越の皆様を勇気付け、大盛況に終了しました。

成田太鼓祭り～全国太鼓情報発信基地～

4月9・10日、千葉県成田市において「成田太鼓祭」が開催され、当財団も参加致しました。成田山新勝寺へ続く約1kmの参道に6つの特設ステージが設けられ、一日中太鼓が楽しめるため、毎年20万人近い人を集めております。今回初の試みとして、千葉県支部と千葉県太鼓連盟が主催、当財団が共催者となり「全国太鼓情報発信基地」のブースを設け、日本太鼓を広く紹介しました。パネル展示、チラシ配布、ビデオ上映や太鼓展示、大太鼓を背景に写真撮影や、ミニ太鼓作り、演奏披露などを行い、二日間で5,000人の来場がありました。



(熱心にパネルを見る観客)

愛・地球博に太鼓が出演

第9回日本太鼓全国フェスティバル

今年は、愛知県で開催中の「愛・地球博」会場にて実施します。

期 日 2005年7月20日(水)
時 間 開場18:00 開演18:30(終了予定20:30)
会 場 愛・地球博会場内EXPOドーム
主 催 (財)日本太鼓連盟
主 管 (財)日本太鼓連盟愛知県支部
協 賛 日本財団
入場料 無料(但し、万博への入場券は必要)
出演団体

龍・連山と和太鼓「龍」(山形)
銚子はね太鼓保存会(千葉)
太鼓集団天邪鬼(東京)
御諏訪太鼓保存会(長野)
虫送り太鼓(石川・手取亢龍太鼓保存会・出城太鼓保存会)
富岳太鼓(静岡)
富木神幸太鼓(石川)
手取亢龍若鮎組(石川)*日本太鼓ジュニアコンクール優勝チーム
愛知県合同チーム(愛知)
尾張新次郎太鼓保存会(愛知)
石見神代神楽上府社中(島根)
ゆふいん源流太鼓(大分)

愛・地球博 ジャパンウィーク

6月7日～12日を、日本の文化を紹介する「ジャパンウィーク」とし、国際的なジャズサックス奏者渡辺貞夫氏が総合監督となり、ジュニア世代を中心に「リズム」を通して日本を表現します。

会 場: 愛・地球博会場内 EXPOドーム
入場料: 無料(但し、万博への入場券は必要)
主 催: 経済産業省 博覧会推進室
(財)2005年日本博覧会協会政府出展本部

「日本の音楽・伝統と今」

期 日: 2005年6月9日(木)
時 間: 13:30～14:45 予定
内 容: 日本太鼓ジュニアコンクール歴代優勝団体(第1回～第7回)と小口大八副会長による史上初の共演会

「渡辺貞夫リズムワールド」

期 日: 2005年6月7日(火)～12日(日)
時 間: 18:00～19:30 予定
内 容: 渡辺貞夫バンドと、霧島九面太鼓女子部(鹿児島)及び世界各国で活躍するジュニアグループによる演奏

第7回日本太鼓全国障害者大会・出場団体募集

期 日 2005年10月30日(日)
会 場 ガレリアかめおか
(京都府亀岡市余部町宝久保1-1)
時 間 開演13:00(終了予定17:00)
入 場 無料(入場整理券有)
出 演 20団体程度を予定
申込み〆切 5月31日

各支部からの、積極的な障害者チームの推薦を期待しております。出演希望の団体は、当財団までお問合せ下さい。

訃報

財団設立以前より永年の間、日本太鼓の普及、発展のためにご尽力いただいております当財団理事の井関君夫氏をご逝去されました。ここに謹んでお悔み申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

2005年3月23日死去 享年70歳
日本太鼓連盟理事
日本太鼓連盟2級公認指導員
埼玉県支部長
埼玉県太鼓連盟会長
川口初午太鼓連絡協議会会長

2005年度事業予定

当財団の今年度の主催事業等の予定は下記のとおりです。

5月18日(水)	第9回日本太鼓チャリティコンサート(東京都港区・草月ホール)
5月21・22日(土日)	第25回日本太鼓支部講習会(兵庫県新宮町・総合会館ふれあい)
6月9日(木)	愛・地球博「ジャパン・ウィーク 日本の音楽・伝統と今」(愛・地球博会場)
6月7日～12日(火～日)	愛・地球博「ジャパン・ウィーク 渡辺貞夫リズムワールド」(愛・地球博会場)
6月25・26日(土日)	第23回日本太鼓全国講習会(栃木県鹿沼市・ウェルサンピア栃木)
7月上旬	第8回代議員会(東京都品川区・船の科学館)
7月20日(水)	第9回日本太鼓全国フェスティバル(愛・地球博会場)
10月30日(日)	第7回日本太鼓全国障害者大会(京都府亀岡市・ガレリアかめおか)
11月12・13日(土日)	第24回日本太鼓全国講習会(富山県砺波市)

2006年

2月25・26日(土日) 第25回日本太鼓全国講習会(大分県湯布院町)

*ジュニアコンクールのプログラムには2月11、12日と掲載しておりましたが、日程変更になりました。

3月19日(日) 第8回日本太鼓ジュニアコンクール(長野県松本市・まつもと市民芸術館)